

\*\*\*\*尚、通年下記行事を実施しております。是非御参加下さい。\*\*\*\*

## ◇定例法話◇



毎月一度お寺に集まり、聞法を深めるとともに、お仲間と命の尊さを確認し、語り合えるご縁をいただきましょう。

どなたでも自由参加ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。

○日時 毎月25日 午前10時半より 午後1時半より

## ◇婦人同朋会◇



正信偈を中心としたお勤めからはじまる聞法会です。勤行稽古、報恩講への参加を御縁とした交流の場でもあります。

尚、正信偈の意訳を通して宗祖親鸞聖人の教えを深めていきます。まだ始まったばかりですので、皆様の御参加を願っております。

○日時 午後1時半より 10月23日（午前10時よりおみがき）

1月22日（互礼会） 3月26日

## ◇俳句会◇

毎月 第1日曜日及び7日



## 《一口法話》



食の問題に関する事件がまた明るみになりました。「三笠フーズ」による汚染米不正転売です。ますます深刻さを増し、酒造メーカーや米菓類にとどまらず、汚染米は病院、高齢者施設、保育園の給食などにも使われていたようです。

いつからでしょうか？食に関する偽装、混入、期限切れ・食べ残し食材の再利用…聞き慣れてしまう程に、憤りを感じます。あまりに続く「偽」の発覚に私達はいったい何を信じたらよいのでしょうか。不信感と不安が募るばかりです。

「知らぬが仏」という言葉があります。知らなければ楽なののでしょうか。決してそんな事はありません。（偽を）「知らしめるのが仏」なのです。「偽」が明かされる時、そこに必ず照らし出す「真」がある。偽りは真実によってのみ明かされるものです。

「偽」が次々と明るみにされていく昨今、決して悲観することはありません。だからこそより一層「真」がはたらき、今まさに私達が真実に輝き照らされ、そこに見失いかけていた大切なものがしっかりと浮かび上がってくるのではありませんか。



## 《後記》



森 澄子（大應寺同朋婦人会 会長）

親の背を見て子は育つと言いますが、良きにつけ悪きにつけ親は良かれの気持ちで一生懸命前を見て歩んでいるのでは……。

子はすべての面に自身の価値観のもとプラスマイナスを含め、それを血肉とし枝葉をつけ大きくなって行くのでしょう。ご立派な先代御住職の後を受け、一步一步前進していらっしゃる現住職の姿に安堵と頼もしさを覚えます。

今後とも開かれた親しみのある寺として、人生の知恵・知識を満たすべく歩んでいる同朋人生をより“明かりある道”へと導いて戴ければと思うこと切でございます。

— 一寸の光陰軽んずべからず —

朱熹

— 2 —